

⊕ 長時間露光の撮影方法

タイム撮影

フロントコマンドダイヤルで、あらかじめ1/2〜30秒の範囲でシャッタースピードを設定。シャッターを全押しすると設定時間だけ開く。

バルブ撮影

シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開く。最大60分間。絞りを「A」にしている場合は30秒に固定される。



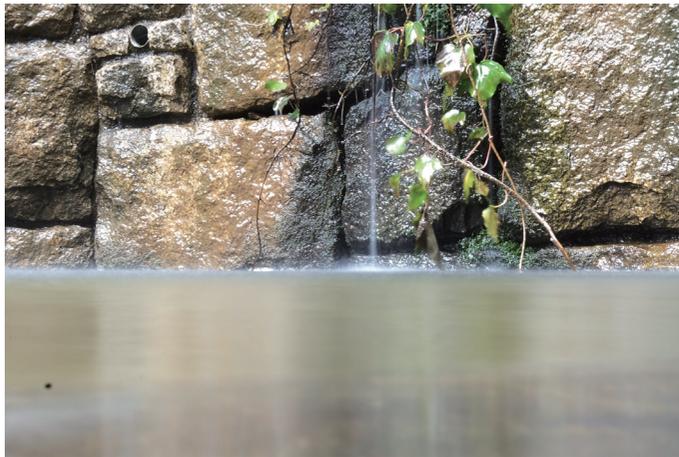
シャッタースピードダイヤルを「B」にすればバルブ撮影、「T」にすればタイム撮影になる。この2つのモードで長時間露光はできる。



ND1000のフィルターを装着したX-T1。真っ黒なフィルターだ。

人の流れを筋状にしたポートレート

人ゴミでの撮影を逆手に取り、長時間露光で人を筋状にブレさせて撮影。被写体となる人物も、シャッターが開いている間は動けない。シャッタースピードは3秒。



水を筋に、水面を滑らかに撮る

シャッタースピードは6秒。水面は滑らかになり、落ちてくる水は筋状に。海などで長時間露光を使うと、幻想的な水面写真を撮ることができる。

NDフィルターを使い日中に長時間露光を楽しむ

人を消し、人を流し、水を筋状にする長時間露光

X-T1は高感度撮影が抜群に良いため、夜景などは手持ちで撮影できてしまう。三脚を使えば絞り込みなども行えるし、手ブレを防ぐことに繋がるが、夜景を極める、というようなスタイルでない限り、さほど長時間露光で撮る意味はない。それならば、日中に長時間露光を行い、動くものを流す、という撮影にチャレンジしてみてもどうだろう。最低感度がISO200（拡張で100）、レンズの最小絞りはF16のものが多いXFレンズ。この組み合わせでは日中の長時間露光は露出オーバーになってしまうためできない。そこで、NDフィルターを使い、レンズに入る光量を減少させる。NDは4、8などから500、1000などのものまであり、数値が大きくなるほど光量を少なくする。日中に長時間露光をするならば500以上は欲しい。人を筋状にするような撮影も可能となる。三脚を持つての移動は大変だが、ユニークな写真が撮れたときの喜びは大きい。

日中でも光の筋のあるスナップ写真

ND1000のフィルター+長時間露光で新宿大ガード付近を撮影。日中でもプレーキランプが筋になる写真を撮ることができた。シャッタースピードは30秒。



XF18-55mmF2.8-4 R・F11・30s・ISO200・Velvia